



三春町立三春小学校

学校だより

平成 28 年 12 月 21 日 発行 責任者校長 太田文枝



< 教育目標 >

- 強く (強い心と体をもつ子供)
- 正しく (進んで学びよく考える子供)
- 美しく (思いやりのある子供)



学校は勉強するところ

平成 28 年も間もなく終了です。申年のこの 1 年子供たちにとって実り多い年となったでしょうか。4 月に 47 名の新入生を迎え、5 月には大運動会を実施しました。全校生が紅白に分かれ、精一杯競技をしたり仲間を応援したりして団結を深めることができました。遠足や宿泊学習も実施しました。校外に出て、いろいろな体験をして見聞を広めてきました。友達と寝食を共にして友情を深めることもできました。また、先に行われた“はばたけ三春っ子”では今までの学習の成果を保護者や地域の方々に見ていただきました。表現力を付け、役になりきりしっかり演じることができました。皆さんに拍手をいただきどの子も満足感・達成感でいっぱいでした。

一人一人が素晴らしい可能性を持っています。少しずつ少しずつ成長し、できるようになったことが増え、うれしい限りです。皆様のご支援、厚く感謝申し上げます。

思春期保健講座を実施しました

平成 28 年 12 月 2 日 6 年生対象

講師 郡山女子短期大学 幼児教育学科 永瀬悦子様

演題 「生命のつながり」

○ 思春期の体と心の変化



【体 験】

思春期になると体にどんな変化があるか、考えて、パネルを貼ってみよう。



○ 命のはじまり



【体 験】

受精卵の大きさは 0.2mm。針の穴ぐらいの大きさです。5 週間たつと、1cm ぐらいの大きさになります。

【体 験】

赤ちゃんの心臓の音と、みんなの心臓の音を聞き比べてみよう。赤ちゃんの心臓は小さいから、みんなより早く動いてたくさん血液を体に送っています。

○ 生命のつながり



【体験】

赤ちゃん人形を抱っこしてみよう。
あなたが生まれたとき、お母さんはあなたを守っていこうと思っていました。
家族は、新しい家族の誕生を待ち望んでいました。

○ 児童の感想より(一部抜粋)

- ・「命のつながり」話を聞いて、命は、こんな風に誕生するんだなと思いました。赤ちゃんが生まれるのは滅多になくて、今生きているのはすごいことなんだと思いました。わたしも生まれてきてよかったなと感じました。これからも命を大切にしていきたいと思います。(女子)
- ・私はこの話を聞いて、ここに自分がいることは、自分が生まれることを願ってくれた人たちのおかげなんだなと思いました。また、体や心が少しずつ変わっていく様子がわかって、なるほどと思いました。そして、おなかの中の赤ちゃんは、最初はこんなに小さいんだと思って、とてもびっくりしました。自分を生んでくれたお母さんや家族に感謝したいです。(女子)
- ・これから、自分の声が低くなったり、筋肉がついたりするということが分かりました。今日のお話で、一番印象に残ったのは、自分は何億分の1の存在だということです。この話を聞いて、これからも命を大切にしようと思いました。(男子)
- ・ぼくは、今日、成長の話を聞きました。最初ぼくもあんなに小さいのに今は147cmもあります。いつもママに怒られるけど、がんばってぼくを生んでくれたのが目に見えるような気がしました。(男子)

○冬休み 12月24日(土)～1月7日(土)

- ・規則正しい生活で元気にお過ごしください。
 - ・ノーディスプレイ運動 家族でルールを決めて
 - ・交通事故にあわないように！交通ルールの順守！
- 事故の無い楽しい冬休みとなるようにお願いします。

よいお正月をご家族みなさんでお迎えください。

